

## 基本理念

### 目的（存在理由）

### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観（不変の主義）

#### 1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、  
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

#### 2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、  
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

#### 3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々<sup>\*</sup>に対し、  
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

※「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー  
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

## 10年ビジョン（2008年4月～2018年3月）

### 技術力と収益力において

世界一のモバイルスペースメーカーになり、  
資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに第48期中間(平成28年4月1日～平成28年9月  
30日) 報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(当上期)における日本経済は、  
政府による積極的な経済政策や金融緩和策などを背景として、  
企業収益や雇用所得情勢が堅調に推移しており、景気は  
緩やかな回復基調が続いています。

政府の経済政策への期待が高まる一方で、円高の進行や  
中国をはじめとする新興国の景気減速、英国のEU離脱問題  
など海外経済の不確実性の影響もあり、今後の景気の先行  
きには留意する必要があります。

ユニットハウス業界においては、企業収益の改善や補正予

算の執行を受けた公共投資の増加等、建設投資は堅調に推  
移しており、需要の高い状態が継続していますが、建設市場  
の需要拡大が建設労働者の人材不足を後押ししており、先行  
きは楽観視できない状況となっています。

このような情勢の中、当社は、熊本地震の被災地域におい  
て、約350戸の応急仮設住宅を建設しました。そのほか震災  
復興に伴う仮設現場事務所や仮設店舗などの建設需要に優  
先的に対応し、早期復興に向けた取り組みを進めています。  
また、全国的に生産及び物流拠点の設備拡充を行い、需要  
増加に対応できる体制を整えるなど、供給体制の強化を図  
っています。

「必要なとき、必要なだけ、必要な空間を提供する」こと  
により、当社のユニットハウスは従来の仮設建築市場のみなら  
ず、本建築市場、不動産市場にまでその優位性を十分に発  
揮できるものであると確信しています。“建築の工業化”とい  
う当社のコア技術をさらに高めていくことにより、新たな市場  
の開拓を図っていく所存です。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツ  
(開拓の精神)を原点に、社会に貢献する会社を目指し、情熱  
を持って活動してまいります。

### 当上期の業績について

ユニットハウスのレンタルにおいては、熊本地震における応  
急仮設住宅をはじめとする復興工事等に優先的に対応し、被  
災地域の早期復興に全力で取り組むとともに、堅調な民間建  
設投資の影響により、出荷棟数・稼働棟数ともに前年を上回  
る高水準となりました。また、デザイン性や機能性をさらに高  
めることで、大型物件やイベント、建替需要など本建築市場

におけるレンタル受注拡大に努めました。

ユニットハウスの販売においては、展示場を新たに9店舗  
出店し、販売チャネルの拡充に努めるとともに、旺盛な本建  
築需要に対応するため、全国的に設計・施工協力会社のネッ  
トワーク拡充に努め、店舗・一般事務所といった本建築物件  
の受注体制をさらに強化することで、より一層の収益の拡大  
に努めました。

トランクルームのレンタルにおいては、新たに22店舗出店  
し、営業拠点の拡充を図るとともに、WEB広告等を強化し、  
稼働率の向上を図ってまいりました。

上記の結果、当上期の連結売上高は18,445百万円(前年  
同期比21.8%増)となりました。

利益面においては、営業利益2,918百万円(前年同期比  
56.4%増)、経常利益2,920百万円(前年同期比56.8%  
増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,520百万円(前  
年同期比43.6%増)となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、  
期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に  
努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導  
ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成28年9月  
代表取締役社長 **長巻貴嗣**